



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会 編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



保育士
うめき あやか
梅木 彩佳

『子どもの生活 II あそび』

私が短大生の時に何度も聞いていたことばです。その当時は「そうかあ」くらいにしか思っていないだったので、保育士として働かせていただくようになり、少しずつその意味が実感として分かるようになってきた気がしています。

『あそび』と言われると、思い付くのはカラフルなおもちゃで遊ぶことだったり、ゲームだったり：？でも子どももって最初から作り上げられたものでなくても、何でもあそびにできる、そして楽しめるパワーを持っているんですよ。小さい石を集めて溝に入れ、ピチョンっと水のはじける様子をまんまるに見入っていたり、草取りをする私の後ろにいつの間にか子ども達が数人くっついて、「大きなかぶごっこ」になっていたり、木にぶつかってしまっただ子どもの指差すほうを見るとありの行列があつたり、給食のコップを耳にあて、空気の流れる音を不思議そうな表情で真剣に聞いていたり、小枝や落ち葉をざくざく踏む足の一步一步が普段の何倍も力強かったり

：こんなことまであそびにしちゃうんだ、こんなにちっちゃなことをよく見つけたなあと、子どもの「おもしろい！」と思う発見に、沢山のことを教えてもらっています。

『あそび』とは、何をもってあそびというのでしょうか？正しい答えはないのかもしれないけれど、私は、子どもが意欲を持ってチャレンジしていることは、子どもにとつては全部あそびなのかなと考えています。あんな高いところにとつては全部あそびなのかなと考え、うやたら登れるんだらう、ブランコをビュンンってこげたら楽しそう、ちようちよを捕まえたいなあ、プールで潜ってみたいいなあ：と、いろんな思いの詰まった表情でチャレンジする姿は、日々の色々な場面でも見られます。

お箸って難しいなあ、もうちよつとでシャツが脱げるんだだけだなあ、リュックって腕が絡まるんだよな、大好きな歌を歌ってみたいけど恥ずかしいなあ、トイレでおしっこができたらかっこいいかも：楽しいばかりではないように見えることでも、目の前のことに一生懸命に向き合い、まわり道や時々つまずいたりもしながら、少しずつステップを経て、「やったあ！」の瞬間に見せる達成感いっぱい笑顔を見ていると、子どもにとつては周りのこと全部がやってみたいことで、きらきらしている『あそびの種』なんだらうな、と思うようになりました。

子どもはあそびの中で色々なことに気付いたり、吸収することで、その全てが学びや成長に繋がっていきます。日常の中で目の前のことに手を伸ばしてみる ↓ なかなかできないなあ：でもやってみたい！成功させたい！ ↓ できた！やった！楽しい！ ↓ じゃあ次も頑張ってみようかな：そんなことを全力で繰り返ししている子ども達。その繰り返しの中で当たり前に見えるようになったことが積み重なり、子ども自身の生活の力になっていく姿を近くで見て、応援することができるとつてすてきななあ、と感じる毎日です。

短大を卒業するとき、私は、『汚れても洗ったらいいよ、それからまたあそぼうよ』を伝えられる保育士になりたい」と言っていました。子どもの「やってみたい」という気持ちの可能性は無量大！上手いかなことや、間違ってしまうことがあったとしても、「やってみたい」という気持ちがあれば「もう一回！」と次のチャレンジに繋がっていきます。そんな子どもと一緒に「もう一回！」と何度も何度も繰り返しながら、子どもの一番の瞬間を一緒に共有しながら、あそんで、あそんで、あそんで：子ども達が見つけるきらきらの『あそびの種』がすてきな花になるように、これからも力いっぱい、今、ここを子ども達と楽しみたいと思っています。

カラオケに行きました♪

八月七日(火)、生活介護事業所『べあクラブ』で社会体験の一環として、甘木ピーポート内のカラオケに行ってきました。

いつもとは違う場所での昼食は、みんな箸が進み、ボリュームのあるお弁当もあつという間に完食！

カラオケではマイクを持ち一生懸命歌ったり、手を叩いたりと盛り上がりしました。

公共施設のマナーを学びながら楽しい思い出を作ることができました。(生活支援員 岩佐)



おいしー！！
いっぱい
食べるぞお～☆



♪サライ～♪
歌うって
気持ちいい～！

ちょっと
恥ずかしいけど…
ノリノリ♪



こぐま療育セミナー報告

八月十七日(金)・十八日(土)にこぐま療育セミナーを開催し、総勢約六十名の参加がありました。

今年度は、保育所等訪問支援事業や障害児相談支援事業が制度化されたことに伴い「障害のある子どもを地域で支え、豊かな生活を送るために」をテーマに、一日目は、制度や事例を踏まえての話。二日目は、永年にわたり活躍されていますが、永島の「柏学園相談支援専門員 金丸博一先生」をお招きしての特別講演や、「こぐま福祉会理事長 大熊猛」の講演、また金丸先生を交えて受講生とのディスカッションを行いました。



受講生の、子どもたちへの支援の在り方を熱心に考え、真剣にセミナーに参加されている姿が印象的で、「貴重な二日間でした。色々な形で『支援』というものがあるのだと新しい発見が沢山ありました。」など、

たくさんのご意見、ご感想を頂きました。有り難うございました。(セミナー委員 白水)

学習会の案内

今年度も「運動障害を持つ子どもたちのための学習会」を行います。

- ① 九月十四日(金)
「遊びと日常生活について」
株式会社 P.A.S
作業療法士 野村寿子先生
 - ② 十月四日(木)
「摂食について」
言語聴覚士 高山 紀子
 - ③ 十月二十三日(火)
「姿勢と運動について」
理学療法士 木下 義博
 - ④ 十一月十六日(金)
「健康管理について」
医師 塩永 淳子
- 《場所》こぐま学園アリーナ棟
《時間》十時～十一時三十分

おくほ月のまじりのお知らせ

今回の九州北部豪雨で被災された方々、お見舞い申し上げます。ここ「上陽町」も大きな被害を受けています。「尾久保研修所」は、幸いにも被害を受けることはありませんでしたが、近隣の住民の方の中には、被害を受けられた方もいらっしゃると思います。こんな時にお祭りなんて…と、思われるかもしれませんが『上陽町が元気になるように！』との思いをこめて、例年通り「月のまつり」を開催させていただきます。

《日時》九月二十九日(土) 十七時～二十時三十分

《ステージイベント》

カラオケ、バンド演奏、踊り、落語公演、じゃんけん大会(豪華景品あり！)

《スペシャルゲスト》岡部はち郎さん

地元の特産品の直売もあります。皆さん、ぜひお越しください。

行事予定

- 四日(火) 味坂保育園交流
- 五日(水) 五条保育所交流
- 七日(金)・八日(土) こぐま・ゆう年長児お泊り保育
- 十二日(水) 真愛保育園交流
- 二十七日(木) 避難訓練
- 二十八日(金) 三国保育所交流
- 二十九日(土) 尾久保月のまつり





ワークステップ卒業生 枇 杷 宜 雄 さん

「枇杷宜雄の母です。いつも御世話になっていきます。」と言うと殆どの先生方が、「ああ」と微笑んでくださいます。何かしら有名人なのです。

今は、七月二十四日にワークステップを退所して、久留米の会社へ通勤して約一ヶ月が経ちました。毎日頑張つて通勤しています。

私たちは、一年半前に北九州市からこちらへ引っ越してきました。ワークステップに入った直後は、よく遅刻していました。先生方が、就職する上で一番良くない事だと、時間を掛けてこまめに教えて下さいました。

また、作業面では、毎日毎日同じ作業を気長にするようになり、いつの間にか、辛抱する事、我慢する事、努力する事、努力して達成した喜びを感じる事を学んだようです。

私は、この子が努力する喜び、仕事する喜びを知ることが諦めていました。しかし、宜雄の努力する姿をみて、親としてとても嬉しかったです。仕事の喜びを、この子が味わえるようになったのだと。本当に、先生方ありがとうございます。

今から先、どんな事があるか分かりませんが、宜雄らしく素直さを失わずぶつかっていつてほしいです。「だいじょうぶ」
宜雄の口癖です。今まで通り、宜雄を信じて行きましょう。
ワークステップのお友達、先生方今まで同様応援してくださいね。いつまでも宜しくお願い致します。
(枇杷 宜雄の母)

耐震製品を作っています。
ニッパーを上手く使えるようになりました！



とにかく
丁寧さが大事！
集中 集中。。。



放 課 後 等 テ イ サ ー ビ ス グ ル ー プ 紹 介

○つばめグループ○

現在小学校一〜三年生のグループで、九人と十人の二つのグループに分かれて活動しています。「集団の中で友だちと協力しながら活動し、仲間意識が持てる」ということを目標とし、活動に取り組んでいます。
1組★四月初、お友だちの前で発表する事にドキドキしていた子ども達も、今では自ら手を挙げ「これが楽しかったです」「負けてしまったけど次はがんばります」と自分の意見や感想を発表する事が増えました。

また、年上のお兄さんが優しく教えてあげたり、同じ年のお友だちと一緒に協力したり・・・と仲良く楽しく過ごしています。



2組★「だるまさんが転んだ」や新聞の筒を足で運ぶようなルールのある活動、身体を動かす活動に楽しく取り組んでいます。最近では、自分達で考え、話し合い、作り上げる、と少しずつ段階を踏んで皆で『大きな海』を作りました。廊下に掲示してありますのでぜひ見てくださいね！
どちらのグループもみんなの団結力がみられる活動をこれからも行っていききたいと思います。

(児童指導員 黒木)

○よつとグループ○

現在小学五、六年生十人のメンバーで活動を行っています。「お友だちと活動を共有し達成感を持つ・場面にあつた必要なことをことばで伝える・集団活動の中で自分から周囲に働きかける」ことを目標に活動をしています。始めは恥ずかしさや緊張で静かだった子ども達ですが、少しずつお互いの名前を覚え、一緒に活動を行うことで、今ではにぎやかなグループとなっています。

今年の上半期、全員で継続しチャレンジしてきたのが、その名も『縄跳びグランプリ』！みんなで息を合わせて大縄にチャレンジするグループと、ちよつと苦手の縄跳びをそれぞれのペースで少しずつレベルアップしていくグループに分かれ、練習を行ってきました。始めた頃は「どうしよう」という表情もちらほら...でも今では「やるぞ！」と自信がつき、上半期の締め、今月末に行く保護者に向けての発表会に向けて楽しみながら頑張っています！！
(保育士 梅木)



大縄
がんばるぞー！！



わたあめ おいしいよ♪



盆踊りもしたよ!



いっぱいすくうぞ~!



ヨーヨー ゲットだぜ♪

夕涼み会2012

8月25日(土)、夕涼み会が開催されました。当日はたくさんの方にご参加頂き、にぎやかな会となりました。

ステージイベントでは、みんなで踊るアンパンマン音頭やドキドキのすいか割りが行われました。他にも、スタッフが作る焼きそばやカレー、子ども達に大人気のくじびきコーナーなどでにぎわいました。

子ども達の笑顔をたくさん見ることができ、夏を締めくくる素敵な思い出となりました。

(夕涼み会実行委員 横山)



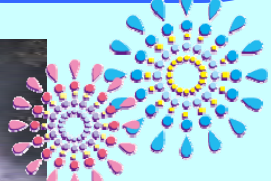
上手にスイカ割れました!



大好きなかき氷!



くじびき
なにが当たったかなあ?



おいしい焼きそば
いかがですか~?



こぐま名物+イアガラ!

